

# 大田市駅周辺東側地区まちづくり瓦版

## 第5回 商業活性化部会 を開催しました！！

昨年度組織したワーキンググループを3部会に再編し、大田市駅周辺東側地区のまちづくりを具現化するために、より具体的な検討を行うことを目的に、平成25年3月6日(水)に「第5回 商業活性化部会」を開催しました。

第5回では、今年度の商業活性化部会の振り返りを行い、来年度進め方について市案を提示し意見交換を実施しました。

### ■ 第5回 商業活性化部会 実施概要 ■

- 日 時：2013年(平成25年)3月6日(水) 19:00~21:00
- 場 所：商工会議所 2F
- 参加者：商工会議所、地区内外自治会長、商店主、住民等
- プログラム

19:00 ~ 19:10 (10分)	開会のあいさつ
19:10 ~ 19:40 (30分)	商業活性化部会の進め方について (部会の達成目標、今年度の振り返り、今後に向けて)
19:40 ~ 20:00 (20分)	意見交換
20:00 ~ 20:55 (55分)	今後の予定・意見交換(産業企画課)
20:55 ~ 21:00 (10分)	閉会のあいさつ

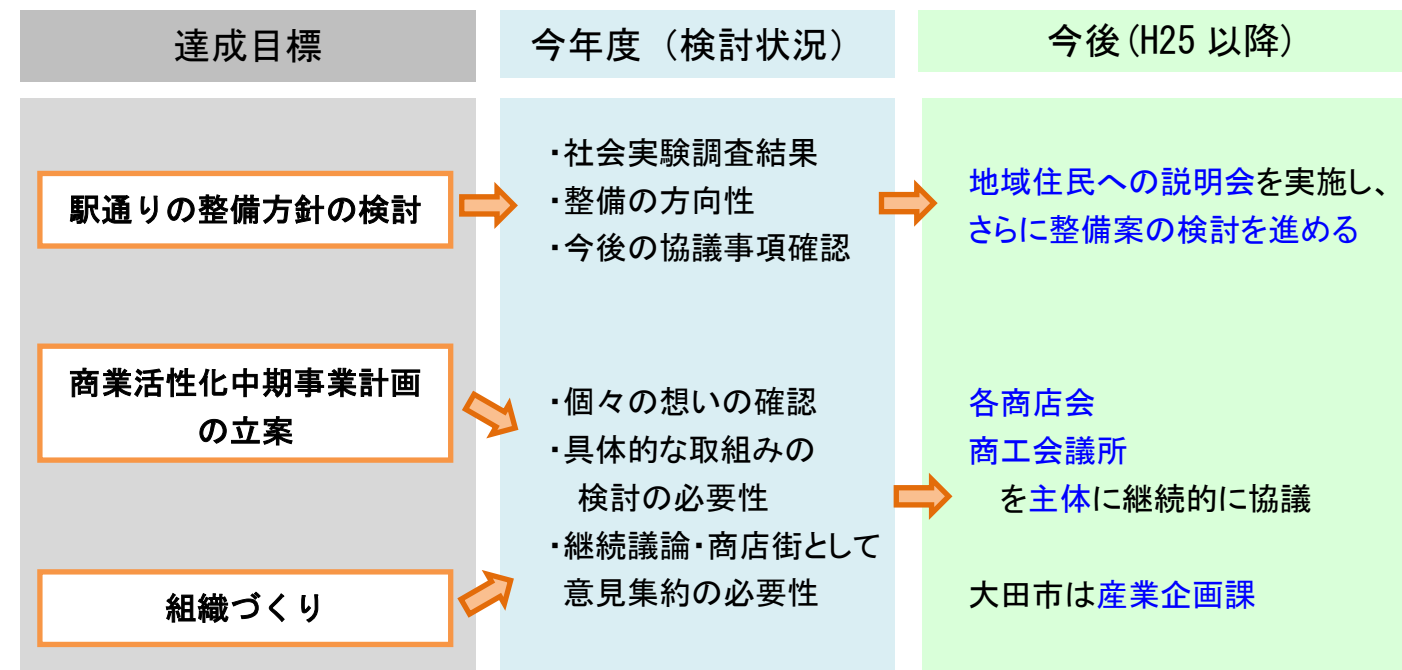


▲ 部会の様子

●発行：大田市 建設部 都市計画課 都市計画係  
〒694-0064 島根県大田市大田町大田口1111  
TEL (0854)82-1600(代表) FAX (0854)82-1722

### ■来年度の取組みについて

本年度の商業活性化部会の振り返りを行い、来年度の取組み方を提示し、意見交換を実施しました。提示した資料と頂いた意見は以下の通りです。



質疑・意見	大田市の回答
<b>【ソフト施策について】</b> ○ 早急にまちづくりを進める必要があるため、ソフト事業を中心に進めながらハード整備が必要。 ○ すぐにできそうなことは1つでも話し合っ、進めたい。	○ 旧中心市街地をどうしていくかについては、危機感をもっており、来年度は費用をかけないソフト事業の推進を考えている。(産業企画課) ○ 具体的な内容については、出来ることから実施することが必要(都市計画課) ○ 駅通りの整備スピードを遅らせてでもソフト事業は必要と考えている。(都市計画課)
<b>【商店街の連携体制について】</b> ○ 現在、商店街が崩壊しているため、組織化が必要。 ○ 年に1度はみんなが集まり、意見を聞く機会が必要であり、継続することが大切。 ○ 商業者の意気込みを呼び起こすことが必要。 ○ 商業者同士の横のつながりがない。	○ 南側では話をする受け皿が無くなっている。(店舗が歯抜けになり、業態が変わったため組織が無くなった。) ○ こうした現状を踏まえ、現在の組織を確認し、そこで何をするかを検討し、合意形成を図るというプロセスを踏んで検討を進める。(産業企画課) ○ 地域住民が困らない商店街づくりが必要と考えている。(都市計画課) ○ 今回の会の意見を踏まえ、来年度につなげる。
<b>【行政との連携体制について】</b> ○ 我々は与えられた条件(環境)の中でしか商売ができないため、この条件(環境)を行政と一緒に良い方向へつなげたい。 ○ 例えば、駅から商店街への人の動線確保や商店街にポケットパークを作るなど。 ○ 行政、商業者の役割分担を明確化して議論することが必要。	